

CROSS POINT

時間と空間の
交差点。
クロスポイント

さく た い せき 咲田遺跡

郡山市咲田1～2丁目

今も昔も住宅地。

市内でも有数の住宅地である咲田一～二丁目は、奈良・平安時代、さらには縄文時代にも、多くの住宅の建っていた場所であることが、最近の発掘調査によってわかってきました。

狭い面積でしたが、今年もこの咲田遺跡で発掘調査が実施されました。調査では、奈良・平安時代の溝跡や、縄文時代中期の住居跡などがみつかりました。

私たちが生活している地面のすぐ下に、古代人や縄文人の生活の痕跡が、いまでも埋もれているのです。



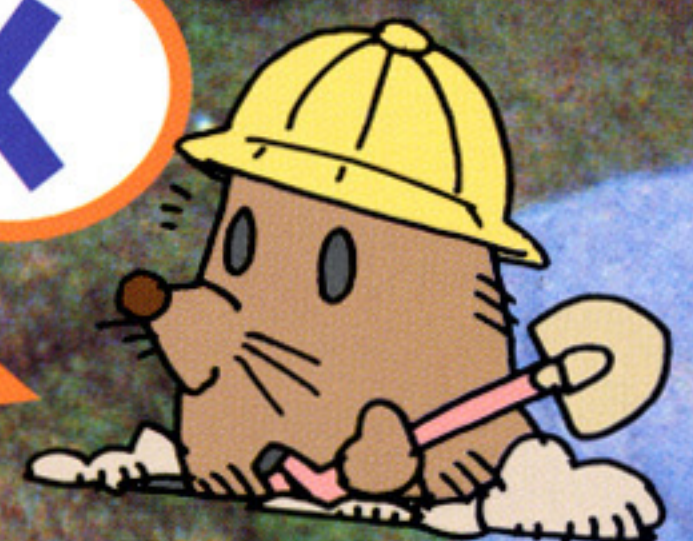
縄文時代の住居の炉跡



奈良・平安時代の溝跡

1

はっく
通信



文献史料に見られる福原城か？

大鏑館跡

郡山市
富久山町福原



現在も調査が進められている



鍛冶工房からは羽口や鉄滓が出土



井戸は列状にならんでみつけた



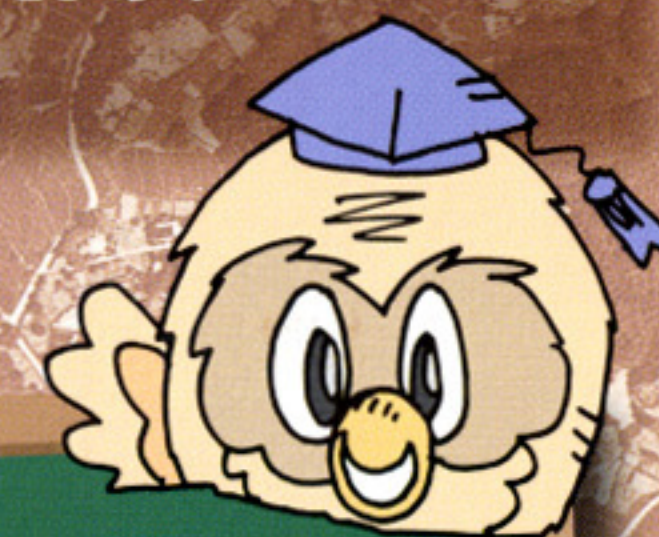
大鏑館跡

曲輪を区画する堀がはっきりとみとれる

富久山町福原の大鏑館跡で発掘調査が進められています。この場所は、調査前から周囲より一段高い地形となっており、地元の言い伝えなどからも戦国時代の城であることがわかっていました。そして今回の発掘調査により、その具体的な姿が少しずつ明らかになってきています。

まず城の構造に関するものとして、曲輪を区画する堀、この堀とともに曲輪の中を防御するために築かれた土塁などが確認されています。そしてこの堀や土塁の内側からは、鍛冶工房や井戸、物を捨てた穴などがみついています。

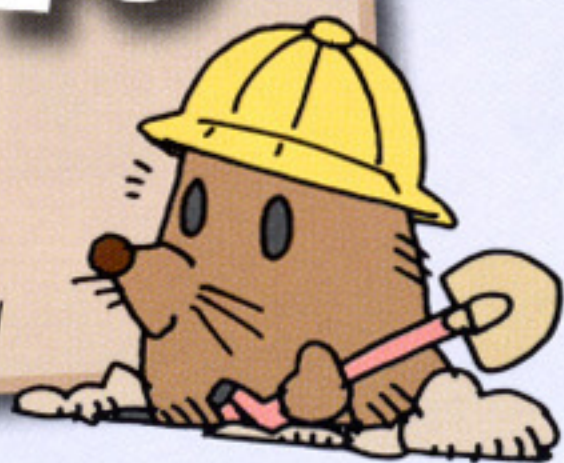
大鏑館跡は、その立地などから福原城である可能性が高い城です。文献史料によれば、福原城は三春を本拠とした戦国大名田村氏の支配下にあった時期があり、戦国時代の郡山地域を考える上で重要な城の1つといえます。



曲輪 くるわ	堀などによって区画された敷地のことで、縁辺には土塁の築かれることが多い。その内側には建物や井戸などが存在する。
土塁 どるい	土を積み上げて築いた土手。
鍛冶工房 かじこうぼう	鍛冶を行なった作業場。

まいぶん 掲示板

REPORT&INFORMATION



“縄文の科学・生命の科学” ワークショップ

郡山市ふれあい科学館・共催
(財)郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団
平成14年8月22日・23日

去る、8月22・23日郡山市ふれあい科学館実験工房で「縄文の科学・生命の科学」と題したワークショップが開かれました。参加したのは小学校高学年から高校生まで40名。

石器を使った実験から縄文時代の人々の生きる知恵と知識が現代の科学に受けつがれていることがわかりました。



1. 縄文時代のくらしについて



2. 石器を観察



3. 石器でリンゴの皮をむく



4. 石器で魚を解剖



5. 魚の浮き袋を使って浮力の実験

整理室 より

阿武隈川の堤防を作るための発掘調査を平成11年から2年間行いました。現在その報告書を作るため出土品の整理が進められています。

馬場中路・小路遺跡▶



キャラクター
ネーミング
募集中!



●現在まで多くの方から応募頂いております。

クロスポイント Vol.3

■発行・編集／財団法人 郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団
〒963-8871 郡山市本町一丁目20番22号
TEL.024-934-8358 FAX.024-938-3030

■発行日／平成14年10月18日

